

輝け角鹿

〇〇の秋…あなたは何の秋?号

令和3年11月吉日

敦賀市立角鹿小中学校



校長室より

11月となりました。今年は感染予防対策のノウハウが整い、また感染状況も落ち着いてきたため、昨年度は全くできなかった学校の外に出る校外学習や、外部のゲストティーチャーをお迎えしての学習活動が、ほぼ予定通り実施できていますが、11月はそんな行事や特別授業が目白押しです。家庭や地域の方々のお借りしながら、家庭、地域、学校の三者で子どもを育てていく「開かれた学校」が戻りつつあることを感じます。いつもと違う場所にみんなで出かけたり、学校の先生ではない方からいろいろな話をお聴きして学ぶ「非日常」な経験は、子ども達の好奇心、向学心を大いに刺激します。しかしそれらも、安定した「日常」が基盤としてあるからこそです。日々の「普通の授業」「普通の生活」がしっかりしていなければなりません。子ども達にとって安心して安定した学級づくりと、充実した授業づくりに、一層力を入れていく必要を再確認しています。24日からの授業参観ではそんな子ども達の「日常」をご覧いただければと思います。

旧角鹿中学校の校舎解体が終わりました。始まるまでの準備期間は長かったのですが、始めてしまえばあっという間、2週間で長年慣れ親しんだ校舎が姿を消してしまいました。今、児童相談所前の道路から、新校舎の全景を眺めることができます。これから第2体育館や児童クラブが建設されると見えなくなる風景です。一度足を運んでみてください。校舎解体の工事中、体育館では床が白くなるほどのホコリが毎日侵入する事態となりました。体育館そうじの割り当てを強化しても追いつきません。そこで呼びかけに応じて中学2年生を中心にたくさんの「体育館そうじボランティア」が、早く登校して毎朝ぞうきんがけをしてくれました。おかげで滑って転ぶ危険なく体育館を使用できるようになりました。「呼びかけると応じてくれる」「一生懸命、黙々と取り組める」…角中生の「いいところ」「誇れる姿」です。その姿を見ていた小学生も、ずっと受け継いでいってほしい「校風」です。月曜日からは小中合同の「朝のあいさつ運動」が始まりました。中学生の大人の声と、小学生のかわいい声が競っています。中学校生徒会は今、「小中学生にここ交流会」を企画して、角鹿小中の「タテの繋がり」を強めようとしてくれています。せっかく一緒になった小中学校です。施設だけでなく気持ちも動きも小中一緒に、いろんな「いい思い出」が詰まった9年間を、自分たちの手で創り上げていってくれることでしょう。



11月~12月の予定

11月

- 16日(火) 就学時健診(小は3限給食なし下校)
- 18日(木) 校内研究会(給食後下校)
- 19日(金) 避難訓練(全校)・ひまわり教室(中)
- 24日(水) 授業参観(小1, 4)
三者進路相談会(中3)~26日(金)まで
- 25日(木) 授業参観(小2, 5と中2)
- 26日(金) 授業参観(小3, 6と中1)
障がい者スポーツ体験(中1)

12月

- 8日(水)~9日(木) 県学力調査(小5と中2)
- 20日(月)~22日(水) 教育相談会
(小学校はミニ通知表配付)
- 24日(金) 冬季休業(~1/10まで)

小学校の制服着用はいつ?

…という問い合わせを数件頂いています。中学校は10月の衣替えに合わせて制服着用に戻しましたが、小学校は感染予防上、体操服のまま学校生活を送っています。しかし成長が早い小学生、制服が小さくなってしまったものの、買い替えても着る機会があるのかしら…と迷っていらっしゃるご家庭も少なくないと思われます。そこで今後の見通しについてお知らせします。

- ◎小学校の体操服での生活は今年度一杯続けます。
- ◎来年度から、「制服着用が基本」に戻します。
- ◎今年度中、特に制服着用が必要な時は事前にお知らせします。今のところ以下のような予定です。

①小学生1~4年生については今年度中、制服上下が必要な行事や活動はありません。ただこれから登下校が寒くなりますので、体操服の上に制服の上着を着る、防寒着を着る、

両方着る、など自由に組みあわせてください。

②卒業式では制服を着用します。現段階で卒業式に参加するのは5年生のみの予定です。ただし着用が困難な場合は体操服でもかまいません。6年生については中学校の制服で出席してもかまいませんし、小中の制服混合や体操服と制服の混合でもかまいません。

☆現在の感染状況が続く(改善していく)ことを前提にしています。状況の変化によって、随時お知らせしながら、臨機応変な対応をとらざるを得ません。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

中3は闘っています！ <高校入試というハードルをクリアするために必要なこと>

中学3年生は今から来年3月まで、厳しい日程の中で志望校を決め、受験して合格を手に入れるまでの闘いが続きます。どの高校を受験するか、今年9、10日に行われた学力診断テストはその重要な判断材料であり、また高校入試の予想問題でもあります。今の時代、子ども達はどんなテストで自分の学力を判断しているのでしょうか。以下は先日実施された学力診断テストの一部です。

小学校からの積み重ねが大切です。

<国語>…漢字の読み書きは必ず出題されます。



Q：下線部の漢字の読みを答えなさい

①初志貫徹の精神でやり抜く

②けが人に処置を施す

→答えは貫徹=かんてつ 施す=ほどこす、です。これらの漢字は中学校で習いますが、文中のその他の漢字を見ると、初=小4 志=小5 精=小5 神=小3 人=小1 処=小6 置=小4、で習います。これらの漢字が読めて文全体の意味を理解しないと、正しい読み方が分かりません。

Q：カタカナを漢字に直しなさい

③運命に身をユダねる

④ソントクを考えずに生きる

→答えは「ユダねる」=「委ねる」、「ソントク」=「損得」です。しかし「運」「命」「身」「考」「生」が読めて文の意味が分からないと、答えに迷います。これら5文字は全て小3までに習います。委ねるの「委」も漢字は小3で習い、「ゆだねる」という読みを中学で追加して習います。

<数学>…基本的な計算問題が入試本番でも必ず4~6問出題されます。

(ア) $-7 + 4 \times (5 - 2)$

(イ) $12a^2 \div 6ab \div 2a$



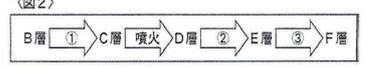
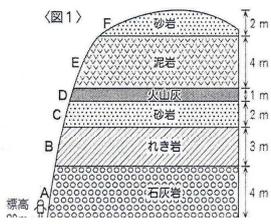
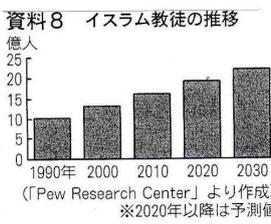
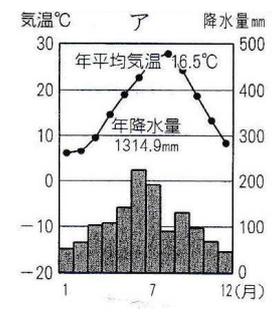
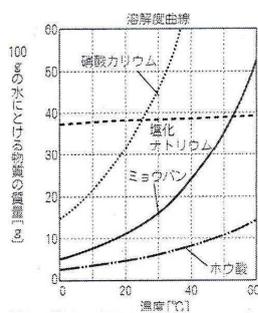
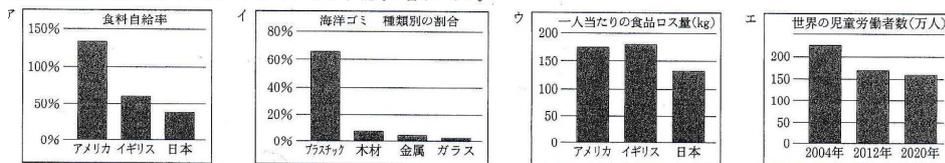
→(ア)も(イ)も中1で習う計算です。そしてこの計算問題は四則演算(+・-・×・÷)のみの問題ですから、考え方、やり方の基本は小学校で習う内容です。

答え (ア) = 5 (イ) = 1/b

教科に関係なく、図や表、グラフを読み取って答える問題が多く出題されます。

<理科・社会・英語>…次のグラフや図表は、理科、社会、英語のテスト問題に使われたものです。それぞれどの教科のテスト問題に使われたかわかりですか？

Ms. Baker が示したグラフをア〜エから2つ選び、記号を書きなさい。



〈表〉

	ア	イ	ウ	エ
①	沈降	隆起	沈降	隆起
②	隆起	隆起	沈降	沈降
③	沈降	沈降	隆起	隆起

→グラフや図表を読み取って答える問題、説明文や会話文の内容を読み取って答える問題が教科に関係なく出題の大きな割合をしめています。「記憶」重視の時代は終わりました。読み取る力、分析して答えや自分の考えを導き出し、それを伝えたり発信する力は、「近未来の社会を生きるため(仕事をしていくため)に必要な力」の一つとして大きく注目されており、様々な入学試験、選考試験で問われています。この力を「リーディングスキル」と呼びます。本校では小学1年生から、日常の授業でリーディングスキルを育てる研究と実践を始めています。

→次号に続く